

<対比表>

	本願全体意匠	意匠3	意匠1	意匠2
図面	<p>【正面図】</p>  <p>【図面側式】</p>  <p>【底面図】</p>  <p>【底面図】</p> 	 <p>底断面形状は？</p> 	 <p>図面</p>	<p>【正面図】</p> 
共通点	<p>全体を筒型の容器の口部に塗布具部を設けたものとする包装用容器であって同筒体の上約半分の部分 を、側面視略直角三角形状であり、前方を約60度の傾斜角度で、上方に向けて漸次絞り上げ、その先端に容器本体の径よりやや小径で短円筒形の「口部」を約60度の傾斜角度で形成し、同口部に、底部を開放した円盤状で、周側面に、滑り止め用ギザを形成させ、上面を緩やかな湾曲面に形成した態様の「キャップ」を被せた態様である点において共通する。</p>		<p>(相違) 上方を約30度の傾斜角度</p>	<p>(相違) 上方を約20度の傾斜角度</p>
相違点	<p>①「容器本体」の断面形状につき、前方を狭くし、後方を広くした長円形状の丸い筒体としている。</p> <p>②・「キャップ」の形状は、底部を開放した円盤状で、周側面全体にわたり、底部方向から2分の1部分のみに、滑り止め用ギザを形成。 ・「容器本体の口部に連続する部分」と「キャップ」との径の比率は、約1対1.7。 ・「キャップ」の縦（頭頂から底までの長さ）と横（直径）の比率は、約1対3であり、横長の印象を与える。</p> <p>③側面視における「キャップ」と容器本体の関係について、容器本体部前面の延長線より前方に突き出していない</p>	<p>①筒体の正確な断面形状は不明</p> <p>②ほぼ全体に滑り止め用ギザを形成。 →比率は、約1対1。 →比率は、約1対1.3であり、縦長の印象を与える。</p> <p>③「キャップ」の先端部は、容器本体部前面を結ぶ直線の延長線より前方に突き出している。</p>	<p>→約1.5倍</p>	<p>→(2.3倍)</p> <p>先端部は、大きく突き出している。</p>
				<p>正面視において、前方に突き出しており、側面視においては、左右に大きく付き出している</p>